

## 掛川市ひきこもり講演会「ひきこもりの理解と対応」アンケート報告

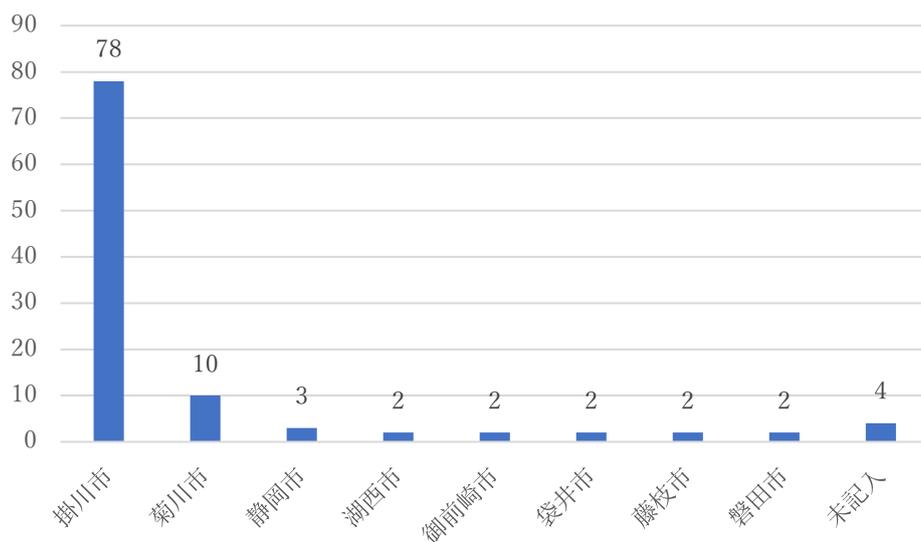
令和5年11月9日午後2時～4時

掛川市文化会館シオーネ大会議室1・2開催

参加者数 105 名

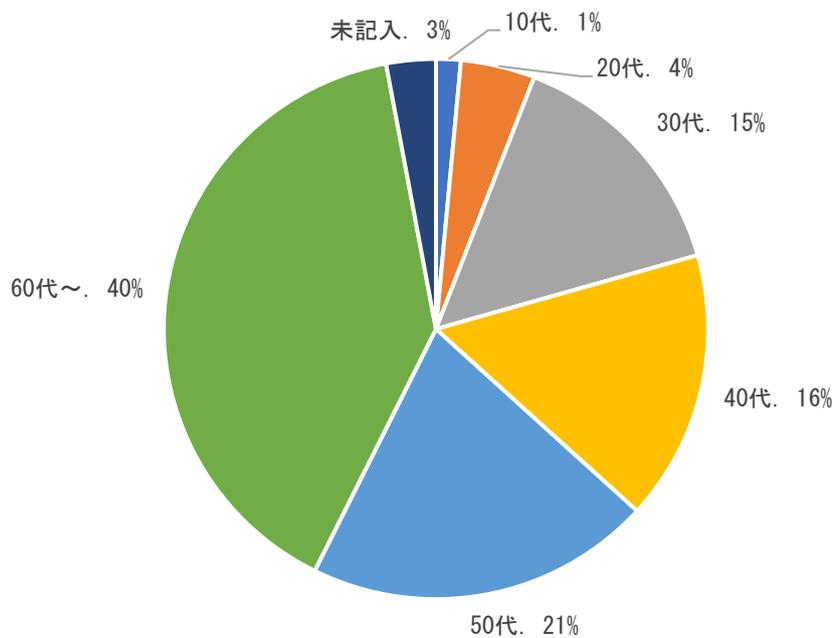
(事前申し込み 104 名 参加者 87 名 83.7% 当日参加者 18 名)

参加者居住市内訳

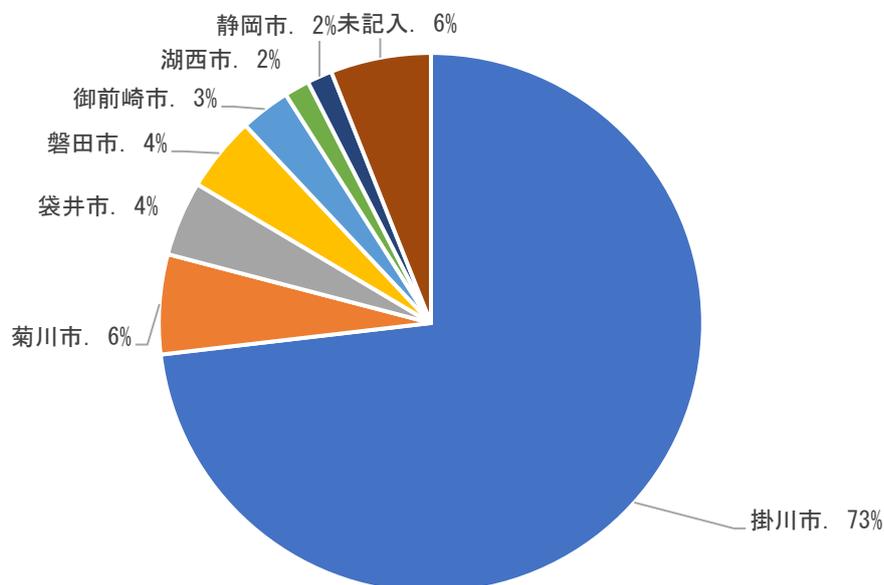


アンケート報告

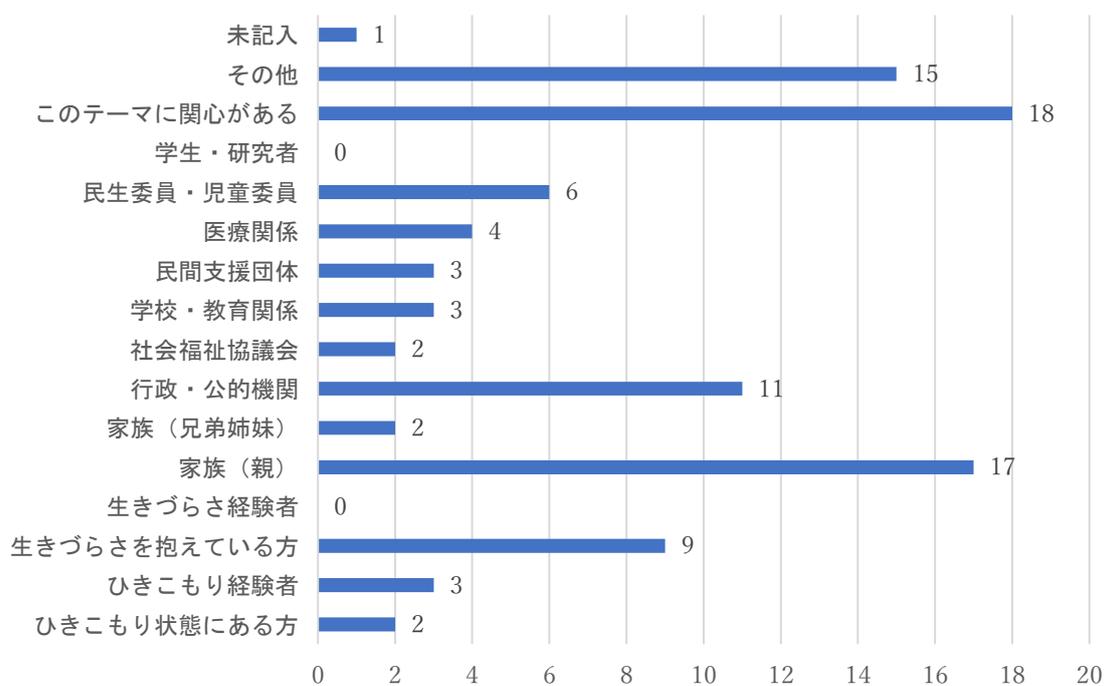
① 年代



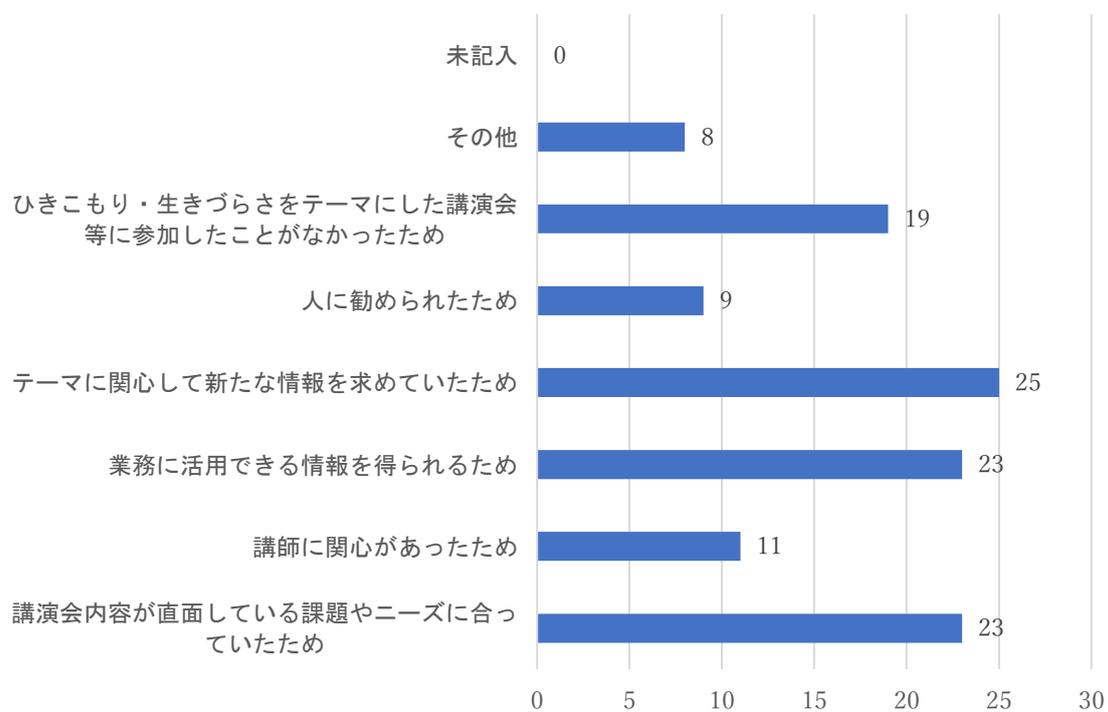
## ② お住まい



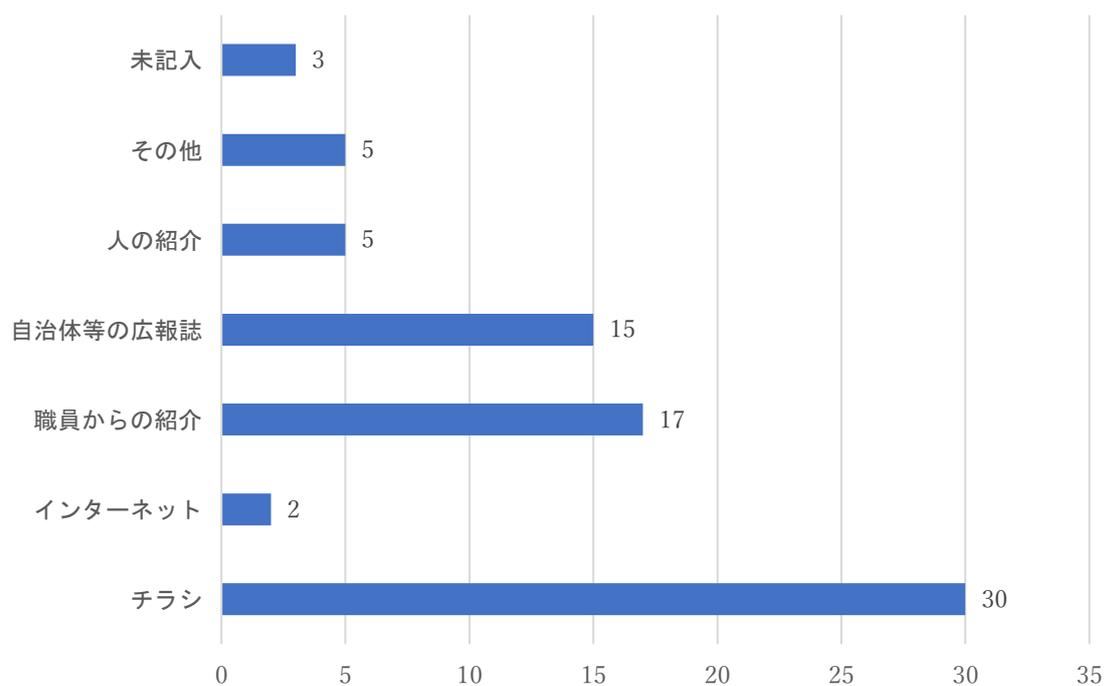
## ③ ひきこもり等に関してどのようなお立場ですか。



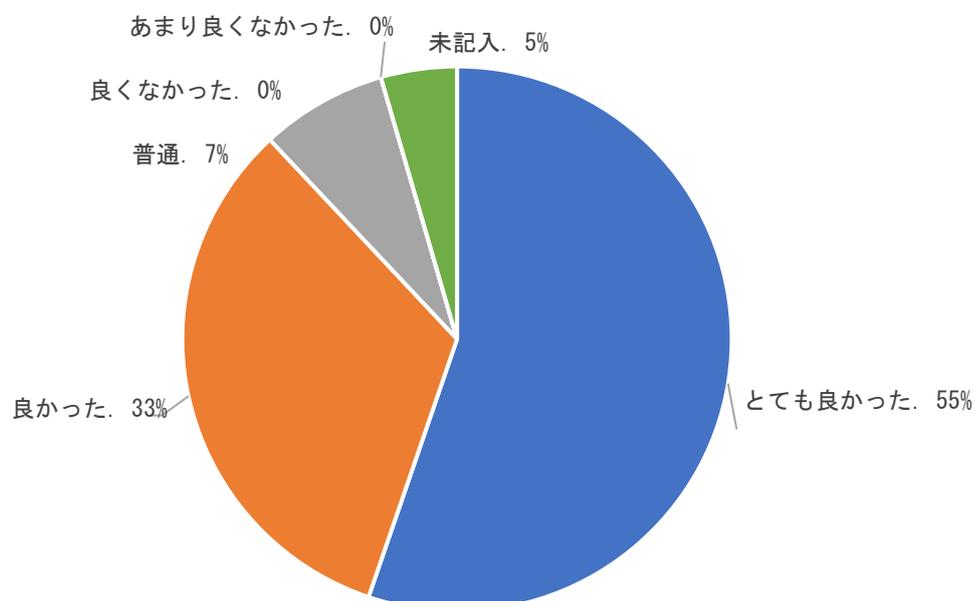
④ 本日の講演会に参加した理由を教えてください。



⑤ 本日の講演会を何で知りましたか。



⑥ 本日の講演会はいかがでしたか



⑦ 講演会の感想、ひきこもりに関して今後聞いてみたいテーマなど、ご自由にご記入ください。

- とても参考になりました。ありがとうございました。
- お話をきけて、とても良かったです。
- 不登校からのひきこもり
- 今、担当しているケースや自分のこととも重なることがあり、とても参考になり、もっとお話をききたいと思う内容でした。ありがとうございます。
- ひきこもる力があるので大丈夫。まず本人を理解する事、普通に接する事、行政、社会資源を知る事の大切さを教えて頂きました。
- 本日の講演の中であった以外のケースも聞きたいです。ありがとうございました。機会あればまた参加します。
- 当事者の思いを聞くことができ、大変参考になりました。事例もたくさん聞くことができたため、今後の業務に活かしていきたいと思います。
- 問題としてあがることの多い、8050 の事例や家族、きょうだいとの関係性について具体的にお話がきけてよかった。支援機関つながり、連携した支援体制を進めていきたい。
- 引きこもる前に何とかならないかと思う。

- 就労支援しています。過去に「ひきこもり」でしたという方がいたりします。私自身「ひきこもり」というキモチは本当にわからないです。相談に、はなしにきてくれる方は、1歩、2歩前進して就労相談にきてくれるので、わりとキモチはおだやかに感じたりしますが、何かのきっかけでおちこんでしまう方もいます。何かヒントや何か声かけできることがあるかな？と思い参加しました。色々、人それぞれの考え、思いがあるので、強みを大事にはなしをきいていきたいと思います。その人と楽しむ。その時を楽しむことで共有時間支援になるって言葉で、私でもサポートやっていると自信になりました。
- 本人の動きを見守るしかないと思えるお話が多く、本人の先行がまるでつかめず、不安はそのままなので心労がぬぐいさられる事はなく心配です。
- 事例が多く紹介されていて、わかりやすかったです。ひきこもりを支援する団体の具体的な活動内容を知りたいです。(きみいろなど、どのような人が利用していて、どのような関わりをしているか…)
- どんな支援も、本人の大変さと本人への働きかけはもちろん大事であるが、その人の身近な人の心の平穏は状況をよくするキーワードであると感じた。一番近くにいる人が自分の人生を生きながら、本人を支える1人になりたいと思えるそんな働きかけは、分野が違っても大事なのではないかと考えさせられた。
- ひきこもり、発達障害について良く理解できた。ひきこもっている方の気持ちがあわかって、これからの接し方に大きなささえになった。
- トラウマについてどうしたらいいか
- 自分の住んでいる地区に横並びに3軒ひきこもりをかかえた家族がいます(①40代男性②30代男性③20代女性)。周囲は心配しています。何とかしてあげたいと思いますが見守るだけの現状です。何か方策はありますか？
- ご講演ありがとうございます。自分は子供の親ですが、確かに自分の子供はひきこもりの症状ではありますが、内容はご講演いただいた内容とは異つているように思います。色々な原因でひきこもる状態になると思うのですが、そのような相談の機会を得る為の手段をご教示いただきたいです。
- インターネット上のメタバースに集う居場所
- 掛川支援センター「きみいろ」具体的な資料がほしいです
- 不登校の子と関わる機会があり、最近是不登校支援でもエネルギーがたまるまで登校刺激をしないとされています。今回のお話に通じる所があると感じ、自己肯定感や安心できる居場所づくりの大切さを改めて考えさせられました。不登校に関するお話も聞いてみたいです。
- ひきこもりの概要を理解でき、本人に寄り添うことの大切さ、寄り添い方が分かった気がしました。今後の業務にも生かせられると思います。

- ひきこもりの方への接し方として、どうしたら外に出ていけるだろうと考えがちですが、「～させよう」と考えるのではなく、家族も本人も、まずは安心できることが大事であると確認できました。感謝の気持ちを伝えることも大切なことであることがわかりました。ありがとうございました。話しの内容、わかりやすく聞きやすかったです。
- 今までの講演会では、親と本人の関わりについては話が多かったが、兄弟や親亡き後の事も考えておかないといけないことも教えていただいた。質問にも丁寧に答えて下さり、とても参考になりました。
- 子供の気持ちが理解できたような気がする。⇒B型へ進路変更が決まったが、続かなくても気にせず本人の心のままに、と思えた。妹への負担も軽減できるよう準備できればと思えた。
- もう少し、ゆっくり話して欲しい。事例間のつながりを作っていくのに早く転回して大変であった。配布資料カラーが多過ぎて逆に見難い。会場が冷え過ぎて不快でした。
- わかりやすいいねいな話の仕方で、真剣に聞くことができた。強制もしてはいけない、相手に任せる事大切だと改めて感じた。いい話、よい方に巡り合えて嬉しいです。ありがとうございました。
- 当事者ならではの語りで、大切な内容がよく伝わりました。多職種連携について触れられていたため、私たちの接する対象や、その世帯から、ひきこもりのことが確認されることもあるのだなあと、認識しました。そんなとき、この地域にどのような資源があり、どのようにつなぎ、連携したらいいのかということを知ることができました。
- ひきこもり支援について、本人を責めない事、本人に寄りそう事が大切であると思いました。本人と同時に家族とも寄りそう事も大切である。ひきこもりの背景など様々な事勉強になりました。
- 深谷様、講演ありがとうございました。とても勉強になりました。これからの活動に生かしていこうと思います。わかりやすいステキな資料もありがとうございます。
- あまり聞かない講演会のテーマだったためよい機会でした
- 責める事をしないで、見守りあいさつ等の交流でエネルギーをためる事が大切と知りました。
- 具体的支援が何を誰に必要なのか、少し判った様に思う。もう一度じっくりと考えた上で、行動して行くことにつなげたい。
- テーマに沿って具体的な内容をお話いただき、とても参考になりました。ありがとうございました。

- 深谷先生がご自身の経験をもとに本人や家族によりそってこられていることがすごいと思いました！！とかく本人を変えたい、変えようとしがちだが、変わらなきゃいけないのは家族であったり周りの人なのだと思います。苦しいのは本人なんだと理解することが大事ですね。信じるのが大事ですね！！ありがとうございました。
- ひきこもり者への親、兄弟の対応を丁寧に説明頂き、非常に役立ちました。難しい局面もあるかと思いますが、まずは実践、改善を繰り返すことにより本人、家族がよりよい環境に進めるようにしたいと思います。同様の講演があれば都合のつく限り参加したいと思います。
- とても優しい口調で、一つ一つがご経験からくる重みを感じました。とても勉強になりました。
- 大変良くわかりました。問題の無い人はやっぱりいないと思う。だれでも大切な人はいると思う。昔のいやなことがなかなか忘れないけど前を向いて行きたい。
- 支援の方法が具体的事例で説明があり大へん参考になった。ひきこもり本人の心情が良くわかった。
- 当事者の心理や家族の苦労等について具体的にお話いただき、理解が深まりました。叱咤激励ってやりがちだけどだめですね。どう寄り添うか、なかなかむずかしいと思います。行政として、何かできるのか、考えていきたいと思えます。
- ひきこもりをかかえる対場での在り方、同じ様な話を何回聴いても、又、「ハット」させられます。しらずうちに気をつけない事を教えて頂き感謝しています。これからもこのような講演会を引き続き行って欲しいです。実体験の方はつたわるものがあり嬉しく聴かせてもらっています。自分自身も高れい者になっていくのでどのように対応していったら良いかわからない点が多くなりますので宜しくお願い致します。
- 声がマイルドで暖かく説明もとても分かりやすかったです。また、スピード感もあり、飽きさせず心に響く講演でした。ひきこもりのみならず、対人対家族にあてはまる部分もたくさんあり勉強になりました。ありがとうございました。
- 座席の間隔をもう少し空けてほしかった。学齢期の不登校（ひきこもり）児に当てはまるポイントが多く非常に参考になった。